

自分サイズの

My VOLUNTEER Style

ボランティア

file No.

115

人身売買根絶/草の根ネットワーク ポラリスプロジェクト

「人身売買。それは外国でのごとく？この平和な日本で人身売買なんて…」と思っている人がほとんどでしょう。しかし、それは問題として表に出ないだけ。性を売り物にして利益を得るための人身売買。その被害に遭うのは、主に社会的・経済的弱者である女性や幼い子どもたちです。今回紹介する「ポラリスプロジェクト」は、日本における人身売買を根絶すべく、警察や各種関係機関、地域の草の根ネットワークとの連携によって活動を展開しているNGOです。また、さまざまな形で参加するボランティアが活動を支援しています。その一人、画家の麻帆さんに参加のきっかけや想いを語っていただきます。

■ ■ ■
画家として、日々自宅のアトリエで作品づくりに取り組み麻帆さん。98年に渡米し、2年前までニューヨークの絵画スクールで勉強していた。麻帆さんのご主人はアメリカ人で、日本で活動中の弁護士。渡米する前に日本で知り合い、03年に結婚。そして、ポラリスプロジェクトのことを知ったのも彼を通じてのこと。
「教えてくれたのは、彼が通っていた日本語学校の友だちの友だち。ポラリスプロジェクトのファンドレイズ(基金)に協力したり、草の根ネットワークの一員として活動している女性です。彼女から人身売買についていろいろ



麻帆さん(32歳) 画家

人身売買が日本でも深刻な問題だとは知らずにいました。 9月に開催するチャリティ個展で、少しでも多くの 人に知ってもらえれば、と思っています!

INFORMATION PLAZA

Polaris Project

■ **活動内容**
人身売買の被害に遭う人は、主に社会的・経済的に弱い立場にある女性や子どもたちであり、性的搾取を目的としたその犯罪市場は日々拡大し続けています。ポラリスプロジェクトは、人身売買問題に取り組む関係省庁、警察当局、NGO、法律家、研究者、ジャーナリスト、そして地域コミュニティと密に連携を取りながら、日本における人身売買の根絶をめざして活動を続けています。また、被害に遭った人々へのサポート、なかでも心身の虐待や脅迫・暴力などを経験した人たちの自己決定力や、自尊心の回復のために活動を展開しています。多言語(韓国語をはじめ、タイ、タガログ、インドネシア、中国、スペイン語等)で対処可能なホットラインを運営するほか、被害に遭った人たちの支援、さらに支援や保護にあたる人々には勉強会や冊子を通して啓発活動を続けています。

■ **草の根ネットワーク&ボランティア募集!**
一人ひとりの小さな一歩が人身売買をなくす大きな一歩になります。さまざまな形で参加いただけますので、ぜひご協力ください。メンバー登録は無料です。
・草の根ネットワークへの登録
・ポラリスフェローとしての協力(業務・広報アシスト、ホットライン支援など)
・言語ボランティア
・デザインボランティア
・医療ボランティア(看護師または医師・経験3年以上) など。
ニュースレター「ポラリスポスト」や参加型のイベント等の情報をお伝えします。また、自らリーダーシップを取り、活動に参加するインターン生とボランティアも随時募集しています。

■ **寄付のお願い**
皆様の寄付は、被害に遭う人の支援活動に直接結びつく大切なサポートです。
・郵便振込みでのお寄付は/口座番号: 00150-9-370561
口座名/ポラリスプロジェクト・ジャパン

■ **連絡・問い合わせ先**
下記のホームページをご覧の上、ご連絡ください。
草の根ネットワークやフェロー応募の情報の詳細はホームページでも確認できます。
<http://www.polarisproject.jp>

※前号に掲載の(株)ゴールはゴール(株)、関口秀幸さんは秀之さんの誤りでした。訂正してお詫言申し上げます。

ろ聞かされて、えっ、それって日本のごとくとすこしショックでした。よく考えてみると、まったく知らないわけじゃなくて、テレビのニュースで見ても、自分には関係のないことだとやり過ごしてきただけなんですよね。それ以来、私なら何ができるかなと考えるようになりました。それで、事務局に連絡を取って詳しいことを聞いてみたくです」
さらに麻帆さんは帰国後、日本でのある状況が気になっていました。それが活動への参加を後押ししたことも確かだという。
「コンビニや駅の売店など、子どもたちでも手に取れる場所にエッチな雑誌や本が売られていること。アメリカにはもちろんとげつない雑誌などがたくさんありますが、子どもが目にするのがないように厳しい規制がありますし、大人たちもけじめをつけています。それを目にしてきたこともあって、日本の状況はひどいと思います。人身売買にも間接的に結びつくもので、まだものごとの善し悪しが判断できない子どもたちにも、性的なものを見せつけるのはよくないですね」
その一方で、「しかし、自分ならどんな協力ができるだろう。事務的なことはあまり経験していないし」と不安だったという麻帆さん。実はポラリスプロジェクトでは、麻帆さんのように絵が描きたいという人、特殊な技能を持った人は大歓迎だった。



「印刷物のデザインをしたり、イラストを描いたり、そんな人も募集しているんだと聞いて、それならすぐ、やるやる、と(笑)」
それが昨年秋のこと。以来、公式サイトの新しいページをつくらしたり、配布する冊子の企画やデザインなど、ポラリスプロジェクトのサポーターとして、麻帆さんは欠かせない人材となった。
さらに今年の9月7日・18日まで、東京・港区の元麻布ギャラリーで、麻帆さんが描きためた作品を販売するチャリティ個展&パーティを開催する予定だ。
「売り上げの50%はポラリスプロジェクトに寄付します。今まで大きな個展を開いたことがないので、こんな形で開催できるなんて幸せ。人身売買の問題はじっくり取り組むべきことですが、この個展をきっかけに、実際に起きていることを少しでも知ってもらえればと思っています。日本にいる外国人の人たちもたくさん呼びますので、それぞれの国の現状なども語り合いたいです。9日の土曜日には、ぜひ、ぜひ来てください!」

リクルートは情報誌でボランティアを応援します。「このページで活動をPRしたい」というご要望、お待ちしております!

このページは、情報誌を提供する当社が考えるボランティア支援のひとつです。毎号、自分ならではのボランティア活動に取り組む方々をご紹介します。自薦・他薦を問いませんので、どしどし応募ください。

株式会社リクルート 総務部 社会貢献担当 〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルート銀座8ビル ☎03-3575-5998